

中央会 おかやま

組合活性化情報

岡山県中央会 web site <http://www.okachu.or.jp>

E-mail chuokai@okachu.or.jp

3

2017
March
Vol.665

今月のFOCUS

新たな外国人技能実習制度 4

特集 Leader's  リーダース「アイ」

岡山県トラック交通共済協同組合

相互扶助組織である協同組合のメリットを

最大限発揮し『事故防止』に努めます



理事長
岡本 卓治 氏

リーダーズ「アイ」

岡山県トラック交通共済協同組合

理事長 岡本卓治氏

中央会おかやま

2

相互扶助組織である協同組合のメリットを 最大限発揮し『事故防止』に努めます

■組合の設立背景を教えてください

現在、運送業界は安全第一を徹底していますが、昭和40年代の岡山県は海面の埋め立てや工場・商店の建設ブッシュに湧き、納期第一優先のトラックが町中を疾駆していたため、事故が多発していました。当時の運送事業者は、任意保険に加入したくても損害保険会社から敬遠され、加入することが困難であったという事情を背景に、運送事業者が資本を持ち寄って団結し、当組合の設立を決起しました。

■組合の特徴や強みを教えてください

当組合の理念は『事故防止』です。損害保険会社と同じように見えますが、大きな違いは事故防止に対する取り組みに最大限注力している点です。

当組合では、運転者講習や事故防止セミナー等の事故防止事業の一環で、平成10年から運転適性診断を開始し、ドライバーの視力や反射神経、暗視等の診断を行う機材を当組合の会館に設置しました。平成13年には同様の検査を行うことが可能な移動適性診断車を導入し、年間約5000人のドライバーに適性診断を行っています。また、ドライブレコーダー等の事故防止機器への助成も行っており、組合員である運送事業者の事故防止への取り組みを全面的に支援しています。

また、当組合は岡山県の事業者のみで成り立っており、適性検査やセミナーを通じての事故防止への取り組み、組合員の要望を把握するためのヒアリング等、職員と組合員とのコミュニケーションが密に取れるという大きな強みがあります。

組合員の努力により組合に利益が出ると、事業年度末に事

業利用分量配当として組合員へ還元しており、無事故無違反の事業者や優良ドライバーに対しては、総代会にて表彰して副賞を贈呈しています。組合員に、組合員全員が株主であり出資者であることを認識してもらうことで、相互扶助組織である協同組合のメリットを最大限発揮しています。

■力を入れている取り組みは何ですか

ドライバーは60歳を境に、動体視力等の身体的能力の低下が見られ始め、事故率が高くなる傾向にあります。当組合の60歳以上のドライバー率は約15%と非常に高く、我々の目標である事故防止を強化していくため、昨年5月から事故防止セミナーの取り組みを始めました。通常のセミナーでは行わないペーパー式の運転適性診断を盛り込んだ当セミナーは大変好評であり、組合員企業からは是非継続してほしいとの声が多数上がっています。

■今後についても聞かせてください

危険物を積載したトラックが対物事故を起こした場合、共済金無制限で加入していても、支払限度額が10億円となる等の例外も存在します。事故による損害が甚大な場合、運送事業者にかかる費用は計り知れません。運送事業者にとって事故を起こさないことが一番大切なことです。

平成2年の規制緩和により運送業の新規参入事業者が急増しましたが、物流量は従来に比べて減少しています。運送事業者の競争が激しくなるにつれドライバーへの負荷も増大し、これが事故に繋がる要因のひとつともなります。設立当時より事故は格段に減りましたが、事故防止に特効薬はありません。新規参入再規制や監査強化等を国へ働きかけながら、



組合事務所内の様子

これからも事故防止への取り組みを中心に、当組合が出来ることを最大限行ってまいります。



次代を担う若手社員

総務部契約課 小林 亮久たく氏

「あなたが勧めるのであれば、是非！」と 組合員様に認めていただける職員を目指します

■業務内容について教えてください

主に営業用トラックの契約更新・変更等の業務に携わっており、先輩のサポートを受けながら日々の業務に取り組んでいます。今年の3月で共済に入って丸1年となる新入職員です。

■業務に対する心掛けややりがいを教えてください

就職当初、自分だけの判断で行った組合員様への対応が適切ではなく、ご迷惑をおかけしてしまいました。業務に「これで良いだろう」という曖昧な考えは通用しないことを痛感し、それ以降、自分では判断が付かないこと、困ったこと、また、上司が気にかけていることは常に、報告・連絡・相談をするよう徹底的に心掛けています。また、業務の全てに根拠を持って判断を行うことの大切さを、業務を通して学びました。

多くの先輩職員が若手である私にたくさんアドバイス、サポートしてくれました。失敗を恐れず、先輩方のサポートを受けながらいろんな事に挑戦できるということに、大きなやりがいを感じています。

業務に関する知識については、テキスト等で勉強していますが、やはり実務を通して学ぶことが大半で、そうした積み重ねにより、今までは分からなかった問い合わせにも答えられるようになりました。さらには、こちらから提案を行うことが出来るようにもなり、こうした時にやりがいを感じています。

今後、様々な経験を重ね、そのひとつひとつをしっかり吸収し、実力を身に付けていきたいと思っています。

■今後の目標は何ですか

初心を忘れず、誠心誠意組合員様に接していくことが、今後の目標です。多くの提案や柔軟な対応が出来るように精進し、取り組んでまいります。また、もっと組合員様とコミュニケーションをとり、一口も早く顔を覚えていただくことも目標です。当組合は損害保険会社とは異なり、代理店制度が無いため、



共済会館内適性検査室



移動適性検査車内

自らの足で組合員様の所へ直接伺い、「コミュニケーションを取れる」という「組合員様との近さ」のメリットがあります。組合員様から「あなたが勧めるのであれば、是非！」と言っていただけの職員を目指すべく、商品以上に私自身を売って、組合理念である事故防止に努めてまいります。

■最後に一言

当組合は組合員様の努力の上になり立っている「相互扶助組織」です。日々感謝を忘れず、組合員様のために出来ることを精一杯頑張っていますので、叱咤激励のほどよろしくお願いします！



組合プロフィール



組合名：岡山県トラック交通共済協同組合
 設立：昭和54年11月29日
 住所：〒700-0945
 岡山市南区新保104-2
 H P：http://www.otk.or.jp/
 組合員数：345事業所（平成29年2月1日現在）



電話対応中の小林氏

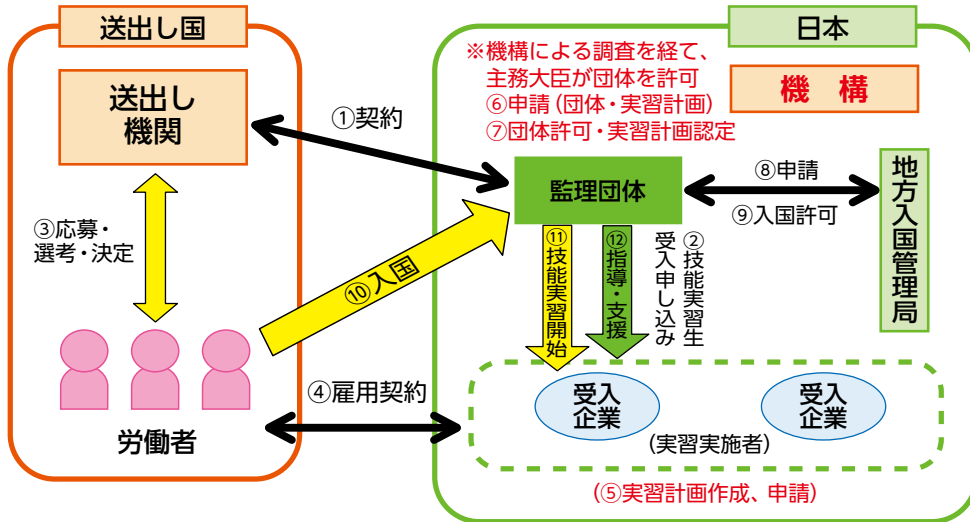
新たな外国人技能実習制度

昨年11月28日、外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律が公布され、主務省令案が発表されました。外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護を図るため、技能実習に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにするとともに、技能実習計画の認定及び監理団体の許可の制度を設け、これらに関する事務を行う外国人技能実習機構を設ける等の所要の措置を講ずるとしています。

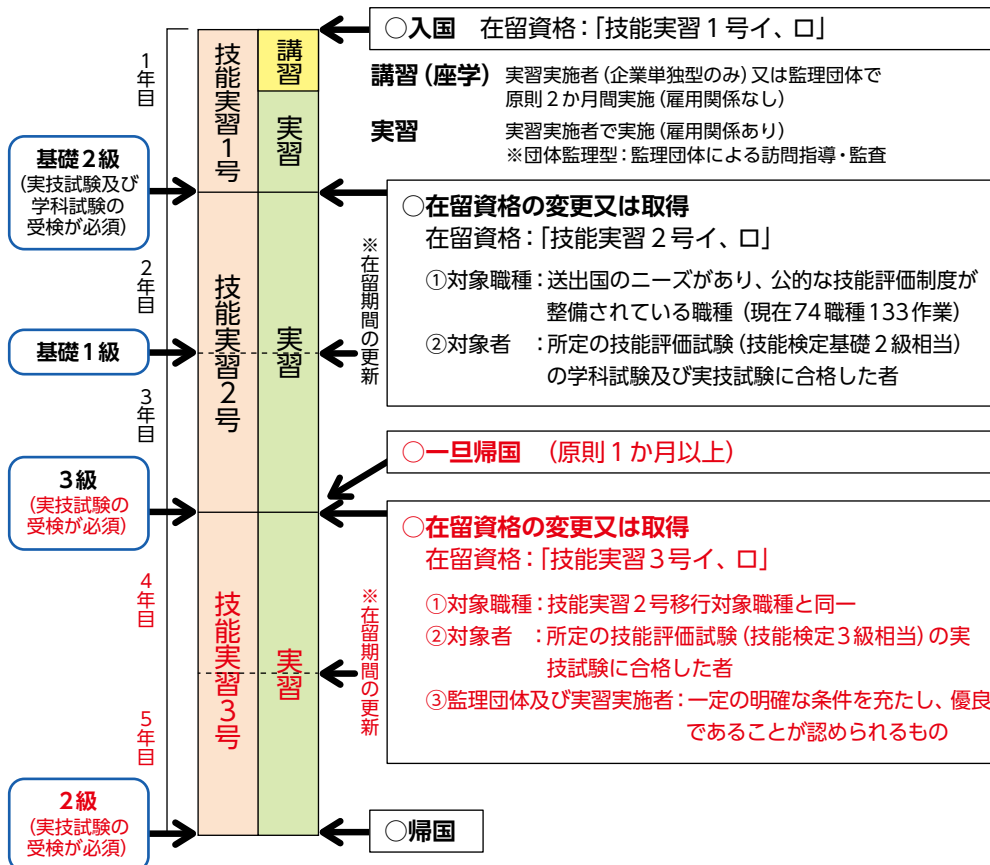
技能実習制度の仕組み (新制度の内容を含む。)

- 技能実習制度は、国際貢献のため、開発途上等の外国人を日本で一定期間(最長5年間)に限り受け入れ、OJTを通じて技能を移転する制度です。(平成5年に制度創設)
- 技能実習生は、入国直後の講習期間以外は、雇用関係の下、労働関係法令等が適用されており、現在全国に約21万人在留しています。 ※赤文字が新制度

【団体監理型】 監理団体(事業協同組合、商工会等)が技能実習生を受入れ、傘下の企業等で技能実習を実施



技能実習の流れ



技能実習制度の見直しの内容について

現行

- ①政府(当局)間の取決めがない
保証金を徴収している等の不適正な送出し機関の存在
- ②監理団体や実習実施者の義務・責任が不明確であり、実習体制が不十分
- ③民間機関である(公財)国際研修協力機構が法的権限がないまま巡回指導
- ④実習生の保護体制が不十分
- ⑤業所管省庁等の指導監督や連携体制が不十分

見直し後

- ①実習生の送出しを希望する国との間で**政府(当局)間取決め**を順次作成することを通じ、相手国政府(当局)と協力して不適正な送出し機関の排除を目指す。
- ②監理団体については**許可制**、実習実施者については**届出制**とし、技能実習計画は個々に**認定制**とする。
- ③新たな**外国人技能実習機構(認可法人)**を創設し、監理団体等に報告を求め、実地に検査する等の業務を実施。
- ④**通報・申告窓口**を整備。人権侵害行為等に対する**罰則等**を整備。**実習先変更支援**を充実。
- ⑤業所管省庁、都道府県等に対し、**各種業法等に基づく協力要請等**を実施。これらの関係行政機関から成る「**地域協議会**」を設置し、指導監督・連携体制を構築。

優良な監理団体等に対する拡充策のポイント

(注) 橙色網掛け部分は法律で規定

- ①優良な監理団体等への実習期間の延長又は再実習 → 3年間 ⇒ **5年間** (一旦帰国後、最大2年間の実習)
- ②優良な監理団体等における受入れ人数枠の拡大 → 常勤従業員数に応じた人数枠を倍増 (最大5%まで ⇒ **最大10%まで等**)
- ③対象職種 of 拡大 → **地域限定の職種・企業独自の職種(社内検定の活用)・複数職種の実習の措置・職種**の随時追加

※優良な監理団体等とは、法令違反がないことはもとより、技能評価試験の合格率、指導・相談体制等について、一定の要件を満たした監理団体及び実習実施者をいう。

技能実習生の数について

基本人数枠

実習実施者の常勤の職員の総数	技能実習生の人数
301人以上	常勤職員総数の 20分の1
201人~300人	15人
101人~200人	10人
51人~100人	6人
41人~50人	5人
31人~40人	4人
30人以下	3人

(参考) 現行制度の基本人数枠

実習実施機関の常勤の職員の総数	技能実習生の人数
301人以上	常勤職員総数の20分の1
201人~300人	15人
101人~200人	10人
51人~100人	6人
50人以下	3人

※常勤職員数には、技能実習生(1号、2号及び3号)は含まれない。

人数枠(団体監理型)

		人数枠		
第1号(1年間)	第2号(2年間)	優良基準適合者		
		第1号(1年間)	第2号(2年間)	第3号(2年間)
基本人数枠	基本人数枠の2倍	基本人数枠の2倍	基本人数枠の4倍	基本人数枠の6倍

○次の人数を超えてはならない。

第1号実習生：常勤職員数の総数、第2号実習生：常勤職員数の総数の2倍、第3号実習生：常勤職員数の3倍

○特有の事情のある職種については、事業所管大臣が定める告示で定められた人数とする。

○やむを得ない事情で他の実習実施者から転籍した実習生を受け入れる場合、上記の人数枠と別に受け入れることを可能とする。

岡山の「食」の魅力を首都圏へ！

スーパーマーケット・トレードショー2017に岡山県ブース出展

去る2月15日(水)～17日(金)の3日間、千葉県の幕張メッセにおいてスーパーマーケット・トレードショー2017(以降:SMTS)が開催されました。

SMTSは、一般社団法人新日本スーパーマーケット協会が開催する、食品や店舗設備を中心とした大規模展示会です。51回目の開催となる今回は、2,054社・団体が出展し、3日間で8万人を超える全国の百貨店・スーパーマーケットのバイヤーや卸・製造業者等が来場し、商談が行われました。

岡山県中央会は今回で8年連続の出展となり、10小間に18企業が参加しました。今年度もテントのグラフィック、手提げバッグ、パンフレット、スタッフブルゾン、更に新しくブースの腰巻きとカーペットも桃色にすることで、より一層の統一感を演出し、多くの来場者から注目を集めることができました。平成21年度から毎年継続して出展しているため、バイヤーから「常連」としての認知度も高まり、出展企業とバイヤーの馴染み度もさらに向上しました。



出展企業のうち10社はこの度のSMTSを一つのゴールとし、昨年4月よりコーディネートから商品コンセプトの検討や販売計画などの企画、製造工程上の課題解決など、商品開発過程毎の助言指導を受けてきました。今回の出展はそれらの成果のお披露目の場となり、直接バイヤーの商品への反応を見ることができました。

岡山県中央会では、今回の出展が多く企業の販路拡大や商品ブラッシュアップといった新たな展開に繋がるよう

う、その後のフォローアップも行って参ります。

また、今後も事業者の皆様のニーズを把握し、皆様に喜んで頂けるような支援事業の展開を考えております。

フード30選に岡山県から選出！

SMTS開催に併せて実施される「スーパーマーケットで買いたい！フード30選」(SMTSに出展された商品の中からエントリーを受け付け、スーパーマーケットで「買いたい！」と思う商品を毎年30品選

出する企画」に、岡山県ブースから出展した『(株)早瀬食品(美作大豆こうじ君)』が総エントリー871品から選ばれました。風船の中に入った豆腐を爪楊枝などで刺して開けると楽しい発想が好評で、岡山県ブースへの来場者数向上の一助となりました。(岡山県としては平成24年度に『(株)鈴木屋クーク』が、平成26年度に『(有)河野酢味噌製造工場(ひしおもろみ)』、平成27年度に『(有)醍醐桜(恋するジャージ premium)』ゴールデンミルク)、『(株)早瀬食品(美作とうふ青大豆)』が選出されております。)



(連携支援課 鈴木)

インターンシップ フォーラム開催される



岡山県中央会では、2月14日(火)、インターンシップのあり方や意義、事例研究等によるプログラム策定に向けたインターンシップフォーラムを開催しました

フォーラムには、県内企業や学校関係者、行政機関など約140名が参加。(株)ニッチモの海老原社長からの基調講演のほか、当会スタッフによる実施成果報告、インターンシップ受入企業が

らのプレゼン発表や学生によるインターンシップ参加報告などがあり、各参加者から「今後のインターンシップの進め方のヒントに繋がった」、「人材採用戦略において大変刺激を受けた」などのコメントが寄せられました。

フォーラム後は、大学関係者と企業との情報交流会があり、それぞれ名刺交換をされるなど成功裡に終了しました。

企業情報発信サイトのご案内



岡山県中央会では、県内企業の魅力発信や採用・インターンシップ情報を無料で配信する企業情報サイト「きらおか」を運営しております。

登録方法や掲載に関するご質問などがございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。TEL086・2224・2224

(労働支援室 岡崎)

岡山県印刷工業組合

マーケティングブランディングセミナー2017開催

去る2月1日(水)、岡山県印刷工業組合にて、ペーパーレス化する業界の現状に対しての業態変革を狙った「マーケティングブランディングセミナー2017」が開催されました。組合員のマーケティング強化やブランド化を目的としたこのセミナーには、講師に就実大学副学長・経営学部長教授の杉山慎策氏が招かれ、組合員26社61名が参加しました。

セミナーは前半と後半に分かれ、前半はマーケティングの概要や分析手法等についての内容でした。孫子の兵法にある「敵を知り己を知らば、百戦殆つからず」という言葉を例に、内部要因と外部要因を分析するSWOT分析についての説明や、市場細分化・標的市場の決定・自社の立ち位置の明確化を分析するSTP分析といった、具体例を用いた説明がありました。また、セミナー後半では、「日本一長い川は？では二番目は？」という質問を参加者に投げかけられ、ブランドとは消費者の頭の中に存在するイメージであること、

トップブランドにならないければ想起・認知される事は難しい等のブランディングについての説明がありました。

学んだ事は実践こそが一番理解出来ると語る杉山氏。講義の後半には、「この時代に相応しい新しいカレンダークを考えよ！」と題し、講義で学んだ分析手法を活用して、各グループごとに様々な案を発表されていました。当組合では業態変革をテーマに様々なセミナーを行ってききましたが、ワークショップを取り入れた講師と参加者の相互のやり取りを取り入れたセミナーは初開催となります。企業のマーケティング・ブランディング力底上げを目的として、今後も継続して組合員企業の営業力強化を図り、変化に挑む当組合の活躍にご期待下さい。(組織支援課 吉尾)



岡山県中小企業団体青年中央会 コラボ商品の企画で経営理論の活用方法を身につける

岡山県中小企業団体青年中央会（以下青年中央会）は、実際の新規事業の企画運営を通して、経営理論の活用手法を身につけるためのプロジェクトを実施しました。青年中央会では、管理会計論やマーケティング等といった経営理論を学ぶビジネススクールを実施しており、このプロジェクトはその実践編になります。学んだ経営理論の活用方法を体験し、身につけることによって、各参加者が自社の経営にも経営理論を役立てられる様になることを目的としています。

プロジェクトメンバーにうどん製麺業者が参加していたことから、うどんを中心とした会員企業のコラボレーションによる新商品の企画開発に決まり、7月から12月にかけてプロジェクト会議が開催されました。コーディネーターとして岡山県の政策アドバイザーの



出島誠之氏から指導を受けながら、3C分析・VRIO分析等のフレームワークを基に商品企画が行われました。経営理論の習得と合わせ、新規事業が実際にビジネスとして成功することを本気で目指し、参加者は熱心に取り組んでいる様子でした。

企画された商品が、写真中段の「厚揚げうどん参百」です。炙り焼きして特製の醤油にくぐらせた厚揚げを具材としたうどんで、青年中央会会員の製麺所、醤油製造者、豆腐・揚げ製造者の三者のコラボレー

ションによる商品です。11月13日には矢掛町で開催された「第41回岡山県・矢掛の宿場祭り、大名行列」にテストマーケティングとして出店し、約200杯販売、非常に好評の声をいただきました。

平成28年度の青年中央会の事業としては、このテストマーケティングの結果をフィードバックして締めくりましたが、今後もこの商品はイベント等各所で販売する予定です。皆様お見かけの際にはご賞味ください。

（組織支援課 藤田）

飛鳥グループ協同組合 家族葬ホール法要庵ひとひら 東山店オープン

葬祭業を行っている飛鳥グループ協同組合（理事長 妹尾長武氏）が昨年12月27日（火）に家族葬ホール法要庵 ひとひら東山店（住所 岡山市中区桜橋4・5・37）をオープンしました。

今年1月17日（火）には関係者を招いてお披露目会が開催され、谷口真吾専務理事より「最近のお葬式の特徴は、高齢で亡くなったため、交友関係が限られていたり、身内だけでゆっくりお別れをしたいという人が増えており、家族葬のニーズが非常に高まっている。そうした要望に対応するため、組合で2ホール目となる家族葬ホールをオープンした」と開会の挨拶がありました。

敷地内には仏壇並びに墓石販売店と組合の直営の倉庫が整備されており、立地の優位さを生かして、他の組合員施設に生花や墓石などを配達する拠点となる機能を持っています。

●問い合わせ先

飛鳥グループ協同組合

TEL: 0120・888・316



がんばるものづくり企業 西大寺運送有限公司

配車・積載状況の見える化で業務効率の向上を目指す

岡山市にある西大寺運送有限公司は昭和28年に設立し、従業員とその家族を守るため安全を最優先に運送事業を行っています。燃料価格高騰や運送単価での価格競争、人手不足を背景に、生産性向上やコスト削減を目的として、平成26年補正ものづくり補助金を活用し、自社の配車状況・積載状況を見える化する「求荷求車システム」を導入しました。代表取締役の入倉氏にお話を伺いました。

運送事業者は、ドライバー不足の影響から、受注があってもトラックの手配が出来ないといった問題が発生する場合があります。この問題を解消すべく同業他社と協力して配送業務を行っており、トラックの配車には荷主であるお客様だけでなく、協力会社も関わりがあります。

従来まで、配車や積載状況を確認するためには、配車担当者に電話で問い合わせる以外に方法がありませんでした。1分1秒を争うお客様からの依頼にもかかわらず、配車担当者が電話中の場合は対応遅れとなる事や、混載の場合はドライバーに空きスペース等詳しい状況を電話にて確認しなければなりませんでした。協力会社による空きトラックの問い合わせ

せや急な依頼

への対応も含

め全て電話で

やり取りをし

ており、業務

改善の余地が

ありました。

こうした実情

を踏まえ、配

送に対するお

客様の不安解

消や業務効率

向上を狙い、

見える化出来

るシステムの

導入に至り

ました。

本システムでは、

トラックの積

載状況

や行先、また

長時間運転が

必要となるド

ライバーの努

力も見える化

されます。お



代表取締役 入倉 栄作 氏



岡山物流センター



15tトラック

ただけでなく協力会社もトラックの積載・配車状況が一目でわかるようになったため、一台当たりの生産性が非常に上がり、協力会社の稼働率向上にも繋がりました。以前は、配送先や自社周辺等様々な所に弊社から電話をして運送物の有無を確認し、受注獲得に繋げておりました。しかし本システムでは、お客様のニーズに対応できるお客様自身で状況を確認した

だいてご連絡いただけますので、需要と供給のマッチングが非常に早くなっています。

以前より弊社をお使い頂いているお客様に本システムをご利用いただいております。現在、ご要望をヒアリングして改善を重ねています。今後は新規のお客様に対しても本システムを勧めたいと考えています。また、動態管理としてGPSでトラックの現在位置把握を行い、よりリアルタイムでの状況把握が行えるように取り組んでまいります。

昨今分業化が進む中、西大寺運送有限公司は5年前より顧客の商品在庫管理を担う倉庫業も行っています。岡山県下

10,000坪の目標を掲げ、昨年4月に2,000坪の倉庫を持つ岡山物流センターを岡山市南区箕島にオープンしました。物流拠点として設けた倉庫を武器に営業の裾野を広げ受注拡大を図る事や、身体を故障して長時間運転が困難となったドライバーを、倉庫業務やマネジメント業務へ配置転換出来るといった背景があり、社員・従業員を大切にする入倉氏の心意気が伺えます。

「変化しなければ業界での生き残りは難しい」と語られていた入倉氏。メールでの受発注や、経営管理や収益管理システム、倉庫の在庫管理システム等、積極的に情報化に取り組む中で、今後も変化に挑み続ける西大寺運送有限公司にご期待ください。

企業データ

西大寺運送有限公司

代表取締役 入倉 栄作

所在地：岡山市東区神崎町1830・1

業種：業務用機械機器員製造

TEL：086・943・6655

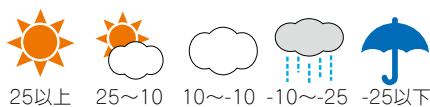
FAX：086・943・6656

(組織支援課 吉尾)

情報連絡員レポート

1月分

岡山県業界天気図



	業界の景況	DI	売上高	DI	収益状況	DI
全体		-31.6		-26.3		-26.4
製造業		-28.6		-14.3		-21.4
非製造業		-34.5		-37.9		-31.0



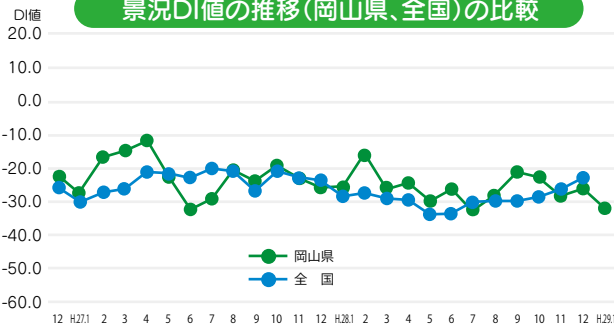
- 増加・上昇・好転
- 変らず
- 減少・下落・悪化

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業種	業種	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
食料品	味噌									
	米菓									
	豆腐									
	醤油									
	酒造									
繊維工業	繊維業・井原									
	繊維業・県									
	アパレル・県									
木材・木製品	製材・県									
	合板									
印刷	出版・印刷									
	製本									
化学・ゴム	ゴム									
	プラスチック製品									
窯業・土石製品	生コンクリート									
	石灰									
	ブロック									
鉄鋼・金属	鋳物									
	鉄鋼									
一般機器	機械器具・東岡山									
	鉄工・津山									
	鉄工・岡山									
	工作機械・総社									
	工作機械・井笠									
	工作機械・英田									
輸送機器	造船関連									
	自動車									
その他	畳									

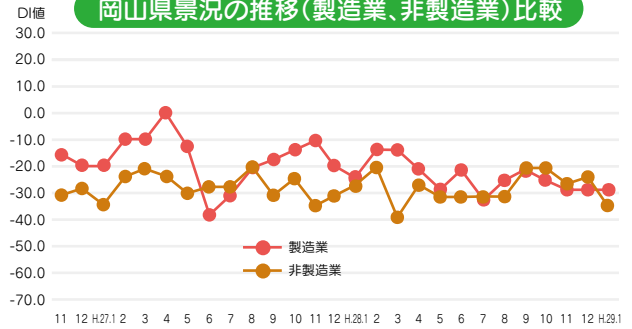
業種	業種	前年同月比							
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	雇用人員	業界の景況
卸売業	機械・工具								
	電設資材								
	青果								
	木材								
小売業	資材								
	石油								
	青果食品								
	中古自動車								
	自動二輪								
商店街	家具								
	商店街・岡山								
	商店街・津山								
	商店街・倉敷								
	自動車整備								
サービス業	建築設計								
	旅館・ホテル								
	電飾・看板業								
	クリーニング								
	リサイクル								
建設業	住宅リフォーム								
	左官								
	土木工事								
	管工事								
運輸業	防水工事								
	バス								
	タクシー								
	トラック								
	倉庫業								
その他	信用組合								

景況DI値の推移(岡山県、全国)の比較



- 全国の12月の景況は、前月対比+3.2ポイントDI値が改善し22.9ポイントと7カ月連続の改善となった。景況は緩やかに持ち直している。引き続き、公共投資の増加や求人増加が景況を一定程度押し上げるものと期待される。一方、個人消費は長期低迷が続く、景況感を抑えている。また、先行きとしては、海外情勢への懸念の高まりが見られる。
- 県内の景況DI値は、前月対比5.3ポイント悪化し-31.6ポイントとなった。DI値内訳は、雇用人員が+3.5の-3.5ポイント、資金繰りが+1.8の-10.5ポイントとそれぞれ改善した。一方、売上高は-19.4の-26.3ポイント、収益状況が-5.2の-26.3ポイント、取引条件が-5.2の-10.5ポイントとそれぞれ前月に対して下げた。冬季に入り閑散期を迎える業種や個人消費低迷も相まって全般的に下がっている。先行きについては、円安・原油高と海外情勢に不安感がある。

岡山県景況の推移(製造業、非製造業)比較



- 製造業の景況DI値は、3カ月連続変わらず-28.6ポイントであった。DI値内容は、前月比販売価格+3.5改善し-3.6ポイント、設備稼働と資金繰りに変動はなかった。一方、売上高は-14.3の-14.3、収益状況が-7.1の-21.4、取引条件が-3.6の-3.6、在庫数が-3.6の0.0、雇用人員が-3.5の3.6ポイントと5項目が前月に対し悪化した。引き続き原料コスト高と海外情勢の影響が懸念される。
- 非製造業の景況DI値は、前月比-10.4悪化し-34.5ポイントであった。DI値内容は、雇用人員が+10.4の-10.3、在庫数量が+7.7の-23.1、資金繰りが+3.5の-10.3ポイントに改善した。一方、売上高は-24.1の-37.9、取引条件が-6.9の-17.2、販売価格が-3.5の10.3、収益状況が-3.4の-31.0ポイントと下げた。天候の影響と個人消費の低迷が続く中、閑散期に入った業種もあり全体的に景況感が下がっている。

製造業

食料品

- 年始の初売りセールは低調だった。大型店舗も元旦こそ客足は良かったが、1月トータルで見ると減収。直売店の来店客数も減っている。1~2月は毎年同じような動きであるが、今年は特に週末に寒さが激しく、来店客数に影響があった。 《米菓》

繊維・同製品

- 国内は引き続き低調、輸出もやや不振。 《繊維業・井原》

木材・木製品

- 先月に続き、原木の出材量は順調であるが、1月中旬の寒波・降雪に伴い今後減少が懸念される。相場は横ばい状況である。また小径木も引き続きバイオマス発電等の燃料用として安定的に引き合いがある。製材品は住宅着工が堅調に推移していることから需要が安定傾向にあり、引き合いはまずまずである。また、プレカット向け材は引き続き安定している。 《製材・県》
- 木材加工製品販売の1月はやや低迷となった。木材製品売上前年対比 90% (1月対比) 120% (1月末対比)、木材商品売上前年対比 67% (1月対比)、113% (1月末対比)。仕入原木価格は昨年より値下がりしたが、雪の影響から出材が激減し、小径木価格は値上げの状況。柱口は値下がりした。小径木仕入価格 (和10~14cm/3m) 9,000~9,500円/m³、柱口 (和16~18cm/3m) 16,000~20,000円/m³。 《合板》

印刷

- 前年に比較して全体的には変わらない状況である。印刷資材の価格も落ち着いている。しかし、印刷価格は低価格競争が続いている。 《出版・印刷》

化学・ゴム

- 短期的には取引先企業の生産回復、新規部品の立ち上げに牽引され、高い操業度は維持できているものの、輸入原料の市況価格が大きく上昇してきていることから、今後悪化要因となる。 《ゴム》

窯業・土石製品

- 売上対前年同月比は2割程度増加しているが、業界全体では特に大きな変化は見られない。 《ブロック》

一般機器

- 顧客業界により好不調の差が大きい。半導体向けは好調であったが、やや落ち着きつつある。輸出関連業界は為替変動により影響が出てくるのではない。 《機械器具・東岡山》
- 前月との比較では、企業間でばらつきがあるものの、若干仕事量が増加した企業もみられる。 《鉄工・岡山》
- 対前年比では大きい変化なし。対前月比では売上ベースで多少減少したが、特別な要因はない。 《工作機械・総社》
- 受注量は安定的に確保出来ており、売上高増加傾向である。 《工作機械・井笠》
- 建材製造ではウレタンパネル事業が好調である。 《工作機械・英田》

その他製造業

- 例年通り動きの悪い1月であった。 《畳》

非製造業

小売業

- 平成28年新車出荷台数がかつてない落ち込みで、34万台の記録的低水準。 《自動車》
- 組合加盟店は店舗内催事が得意なので、通常の店売りに繋がらないが、来店客数が伸びていない現状である。当月に関しては、売上高はほぼ例年並みである。来店客数の伸び悩みの原因は、やはり消費税増税の延期によるものが家具業界全体の悩みである。 《家具》

商店街

- 商店街の集客力低下は昨年より日増しに激しくなっている。空き店舗の増加がかなり激しい。アパレル製品の販売低下。正月三日のみ良好。 《商店街・岡山》
- 空き店舗に新しい店が開店した。若者層の集客につながればいい。 《商店街・津山》
- 寒い日は一段と人が少ない。外国人が増えているように感じる。 《商店街・倉敷》

サービス業

- このところ大型の物件の発注が無く、特に組合への発注数も激減している。価格に至っても競争が激しく、低価格での受注となり経営的にも大変困難となっている。毎年のごとくではあるが、時期的に発注が少ないので、来年度発注に期待をしている。 《建築設計》
- 正月を除いて12月から宿泊客が減少する。これから3月まで閑散期になるので、資金繰りが大変になってくる。 《旅館・ホテル》
- 1月は寒い日が多く、昨年に比べ売上は多少減少した。3月中旬までは閑散期が続く。 《クリーニング》
- 鉄・非鉄では、国内スクラップ価格は昨年末の急騰局面がピークを迎え、1月は500円 (TON当たり) 値上がりも一服状況である。但し、海外市況は値下がりが見られ、早晩日本国内の価格に反映が予想される。古紙では、中国のNET通販拡大により、昨年12月は前月比8% UPしていたが、1月は段ボール・新聞・雑誌とも4~5%値下がりするも、国内価格はやや高値圏にある。 《リサイクル》

運輸業

- 募集ツアー全体の集客状況は前年比98%、旅行客単価は106%であった。スキーバスについては、月前半では積雪不足、月後半の週末には大雪などマイナス要因があったものの、結果的に前年比114%となった。他のツアーでは蟹料理のプランと、若い女性をターゲットにした御朱印巡りツアーが盛況であった。 《バス》
- 平成27年11月28日認可で運賃の値上げが行われたが、その効果がなかなか表れず依然として売上が低調で厳しい状況が続いている。《タクシー》
- 各社1月5日からの営業開始となるが、扱い貨物によっては年末年始すべてに対応した企業もある。年始初日も入庫貨物が集中、周辺道路も混雑を見せるが2週目より落ち着く。シーズンのなものもあり、当月の荷動きは低調。一部今春に向けた業務 (学生服関係) が動き出した模様。人手不足は継続。当組合はもとより、ここ流通センター内企業も募集広告を出したままの状況が続く。センター内企業の200名募集も影響しており、自社での人手流出防止策を講じている企業も多いと聞いている。 《倉庫業》

その他

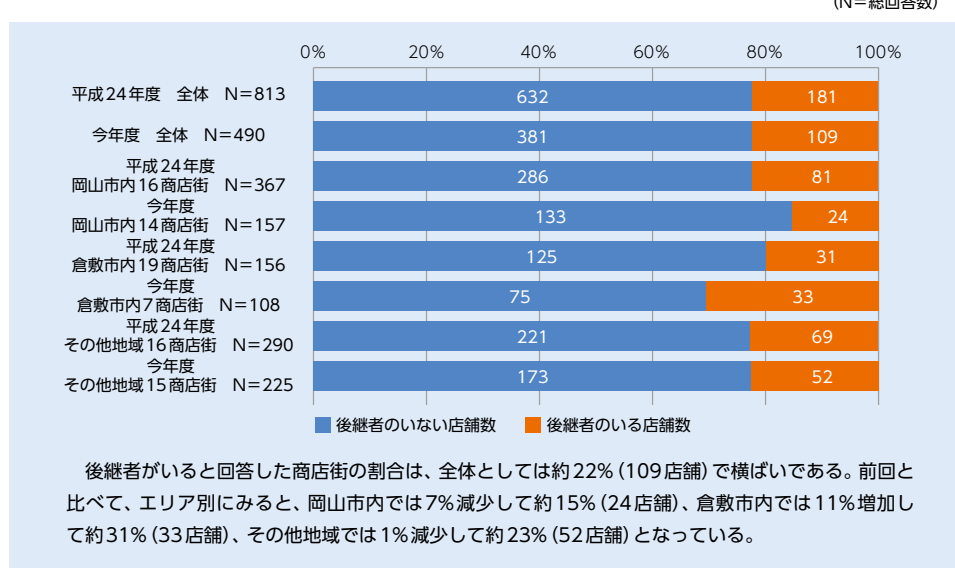
- 新年となっても地場の中小企業者の業況には大きな変化は見られない。緩やかな景況回復基調は続いているものと思われ、地場企業の業績は堅調に推移しているものと思われる。トランプ政権となり、為替相場や株価の動向には注意が必要。円高、原油高傾向となっており、先行きに対する不安感や警戒感もある。 《信用組合》

商店街実態調査報告書まとまる(後編)

岡山県中小企業団体中央会では5年ごとに、商店街のイベントや共同事業の実施状況、後継者問題、空き店舗対策など、県下商店街の実態を明らかにするために、商店街調査を実施しています。前月に引き続き、調査結果から抜粋してご紹介します。

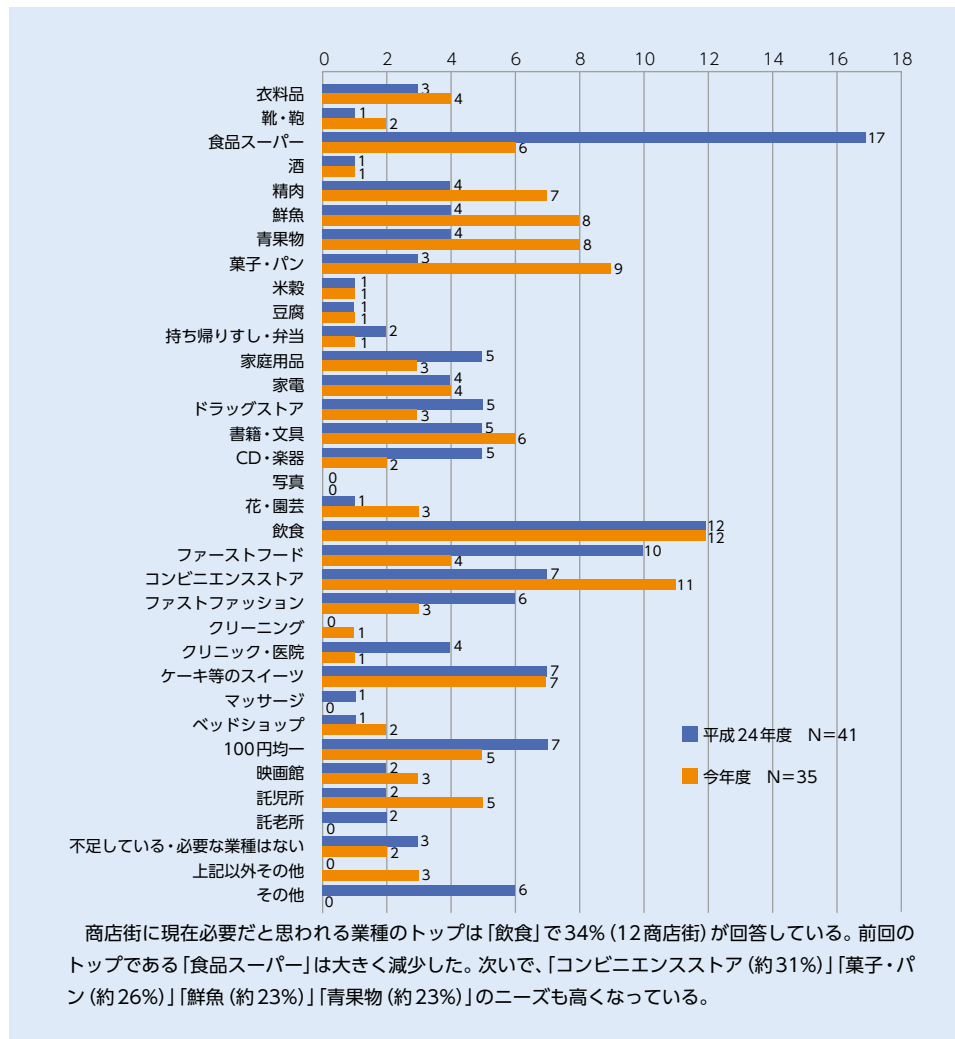
■高齢化と後継者不足の深刻化

表1 正組合員のうち後継者のいる店舗数



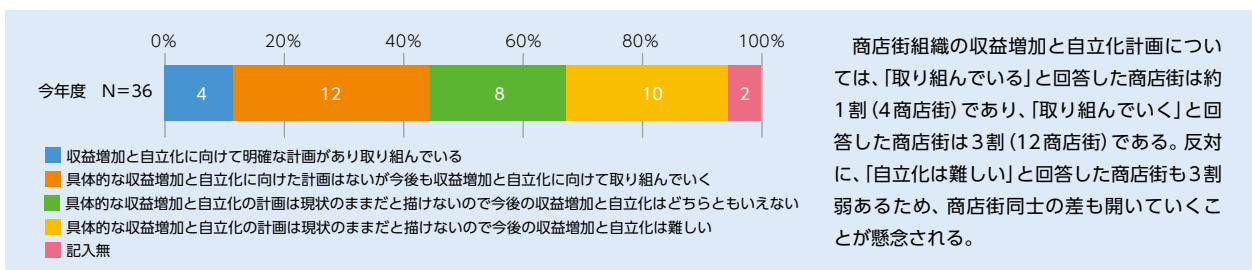
■商店街もコンビニエンスストアに期待

表2 商店街で必要だと思われる業種(複数回答)



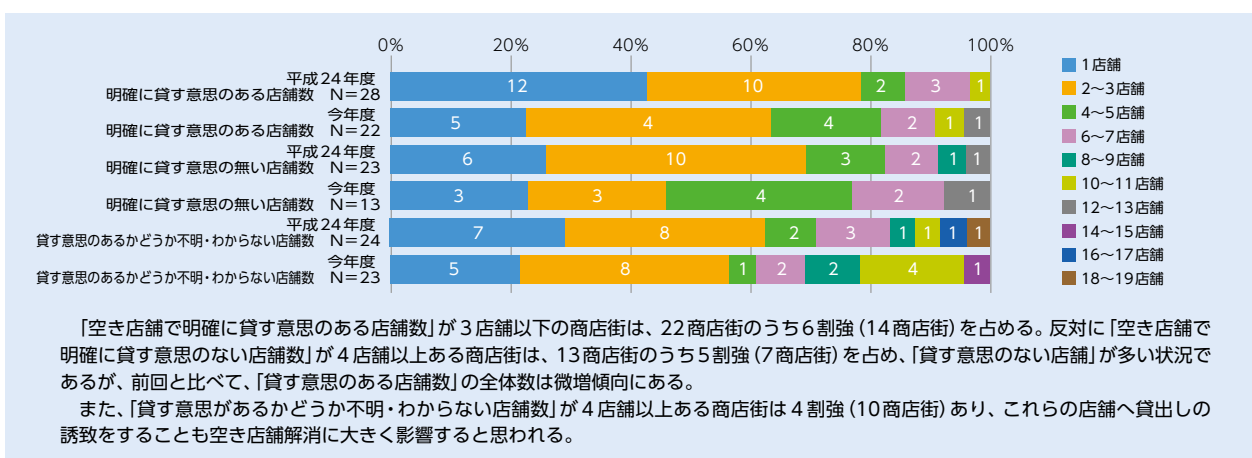
■自立化計画に取り組む商店街、取り組めない商店街での二極化が進む懸念

表3 商店街組織の収益増加と自立化計画について



■貸す意思があるかどうか不明な空き店舗の解消

表4 空き店舗のある商店街の賃貸意向別店舗数（複数回答）



全体の総括

各設問において多少明るい結果が見えたものの、全体としてはかなり厳しい状況下にあります。インターネット販売や大型ショッピングモールが増えてきている昨今、商店街をとりまく環境も厳しくなってくることが予想されます。

しかしこのような状況に際して、他の商店街や大型店舗と協力して活動を行う商店街が増えてきています。「アウトレットモールや大型ショッピングセンターの新設への対策を行ったか」という設問に対し、共同してイベントを行ったなどの回答がほとんどで（表5）、大型ショッピングセンターに対して協力関係にある商店街が増えてきています。

表5 アウトレットモール、大型ショッピングセンター新設、大型複合型ショッピングセンターの増床への対策についての具体策

	商店街名称	対策についての具体策
岡山市内	岡山駅前商店街振興組合	●桃太郎市の開催 ●ジャズナイトの開催
	奉還町商店街振興組合	イオンとの連携（岡山市商店会連合会）
	協同組合岡山市栄町商店街	まちゼミ
	ロマンチック通り商店街振興組合	「みんな表町」として表町全体での活動を繰り返し実施している
倉敷市内	倉敷センター街商店街振興組合	アリオ倉敷が2011年にオープンした際、アリオ倉敷・天満屋倉敷店・商店街・大原美術館を巡るスタンプラリー＆共催で「倉敷ミュージアムストリート」を行った。このイベントが、後の似顔絵スタンプラリーと商店街まるごと美術館である。対策というより、一緒に何かをするということで行ったイベント。

今後、商店街はネット販売などの新たな販売形態に対応するとともに、地域コミュニティの担い手としての強みを活かしていくことが求められると思います。地域の方々と店主が気軽にふれあえるコミュニティ形成のツールとして「まちゼミ」があります。今後、当会と致しましてもまちゼミの拡大を図るべく、商店街の皆様にも積極的にはたらきかけて参ります。

（組織支援課 長木）

掲 示 板

岡山県・岡山県経済団体青年部連絡協議会

県事業説明会、親睦ホウリング親睦大会

日時 平成29年3月14日(火)15時～21時
場所 岡山ロイヤルホテルウエアライン

岡山県合同企業説明会「就活クエスト」

日時 平成29年3月15日(水)13時～17時
場所 岡山ドーム

第1回情報連絡員会議

日時 平成29年3月16日(木)14時～16時
場所 サンビーチOKAYAMA
ピーチホール

共済業務委託制度活用のおススメ

組合・自己財源確保のため

当会が実施している「共済制度」の普及・促進等のご協力をいただける組合様を募集しています。又、業務委託契約を結び、組合・組合員の役職員の方がご成約いただければ紹介料をお支払いします。当会HPをご覧ください。問い合わせは総務企画課まで。

全国健康保険協会(協会けんぽ)岡山支部の 健康保険料率が変わります。

平成29年3月分(4月納付分)から **10.10%** → **10.15%**

※任意継続被保険者は平成29年4月分保険料から変更

- 協会けんぽは、中小企業等で働く従業員とその家族の皆様が加入する健康保険です。
- 40歳～64歳までの方は、全国一律の介護保険料(1.65%)が加わります。

 **全国健康保険協会 岡山支部**
協会けんぽ

〒700-8506 岡山市北区本町 6-36 第一セントラルビル 8階
電話番号 086-803-5780
<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

あなたの会社の福利厚生をバックアップ

ときめきプラザ

給付金/助成金/提携施設/イベント補助など
社員の福利厚生の制度導入、充実に!!

一般財団法人 **岡山市勤労者サポートプラザ**

〒700-0905 岡山市北区春日町 5番6号 岡山市勤労者福祉センター 1F
☎086-223-6364 Fax.086-223-6384
<http://www.tokimekiplaza.jp> info@tokimekiplaza.jp

会費 **500円/月**

表町商店街第6回まちゼミ開催のお知らせ

平成29年3月4日(土)～4月9日(日)にかけて表町商店街にて第6回目のまちゼミが開催されます。「まちゼミ」とは、お店の方が講師となって、一口ならではの「コツ」、使い方や考え方などを無料で教えてくれる少人数制のミニ講座です。講座のジャンルもファッション、グルメ、ものづくりなど多岐にわたり、老若男女関係なく楽しめますので、興味のある講座がありましたらぜひ、ご家族やご友人の方と一緒に参加してはいかがでしょうか。参加される際はゼミ開催各店へお申し込みください。

講座時間 60分～90分ほど

受講料 無料(内容によっては材料費のかかるものもあります)

講座数 67講座(詳しい内容については表町商店街ホームページまで)



<http://omotecho.or.jp/>

中国学園大学 現代生活学部 人間栄養学科 准教授 岡崎恵子の

健康と若さを保つ食生活を目指そう！

料理名 きなこ黒大豆のロールケーキ

きなこ黒大豆をケーキ生地と生クリームに混ぜることで、きなこ黒大豆の香ばしい香りが引き立ちます。黒大豆の食感もあり、おいしく食べられます。

● 材料(ロールケーキ1本分) ●

卵 240g、砂糖 55g、ホットケーキミックス 60g
きなこ黒大豆 40g、生クリーム 70g

《作り方》

- ① 卵、砂糖50gを泡立て、ホットケーキミックスを混ぜ合わせる。
- ② きなこ黒大豆を粗く砕き1/4を残し、①に混ぜ合わせる。
- ③ 天板にクッキングシートを敷き、②を流し入れる。
- ④ 予熱したオーブン(180℃)で20分ほど焼く。
- ⑤ クッキングシートをかぶせ粗熱をとる。
- ⑥ 生クリームに砂糖5gを加え泡立て、残りのきなこ黒大豆を加える。
- ⑦ ⑤に⑥をのせ巻く。

栄養価 (一人前)	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量	カルシウム
	124kcal	5.3g	6.5g	10.8g	0.2g	26.4mg



人間栄養学科 3年生

(後列左から) 伊藤 華奈子、山本 早奈恵、金城 江美、藤原 陽香、石野 真奈
(前列左から) 鏡平名 千秋、与那嶺 光希、藤田 沙慧、伊達 友紀



今回は株式会社ヤマサキ珍味より「きなこ黒大豆」を頂いております。当コーナーは、岡山県中央会が支援させていただいている食品関連事業者様の製品を、中国学園大学のアイデア協力によりレシピを作成しています。

編集後記

トラック交通共済の取材時、共済会館内にある適性検査室で一通りの検査を体験させていただきました。視力検査では、裸眼で左右ともに1.6(機械の限界値だそうです)。文章の読み書きに携わることが増え少し心配でしたが、なんとか現状維持をしています。親に感謝です。

眼は適度に運動させてやらなければ、筋肉の衰えや血流の悪化により視力が下がるそうです。ネットにて「眼球トレーニング」で調べると、面白いですよ。学生の頃から時折実践していますが、なかなかの効果を実感しています。

眼は強化出来ても、極端な気温に対する身体の耐性強化は難しい。そろそろ、桜のつぼみがほころぶ季節。まだ寒い日が続いていますが、皆様、急な温度変化で体調を崩さないよう、お気を付けてください。(吉尾)

ボクはしんたいし たいまうし平



経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、安定した退職金準備ができる共済制度です。

- 特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、一般扱(口座振替月払等)でご契約いただくよりも、保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の事業承継対策とリスクマネジメントのために。

パートナーズプラン

従業員の皆さまの保障準備をサポートします。



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる従業員さまのケガなどのリスクをカバーする保険です。

- 業務災害補償保険
引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社
取扱代理店 三井生命保険株式会社

* 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」および岡山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 三井生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>